

2014年3月議会・最終日「基本計画の見直し」質疑

2014年3月24日

上野みえこ

議題268号「熊本市基本計画の一部改正について」お尋ねいたします。

① 今回の見直し素案についてのパブリックコメントでは、寄せられた意見がたった2人でした。説明会の開催など、見直し素案の周知はどのようにされたのでしょうか。また、寄せられた意見はどのように反映されたのでしょうか。

② 市民の意見を見直しに反映させるための取り組みについてご説明ください。

③ また、「基本計画中間見直し委員会」が設置され、種々論議されてきましたが、どのような形で開かれ、どういう点が論議されたのでしょうか。出された意見は、どのように反映されているのでしょうか。

以上、市長に伺います。

(答弁)

ただいま縷々答弁いただきましたが、私は、今回提案の「基本計画の見直し」に、本常に市民の声・意向が反映されているのか、たいへん疑問です。

ご承知のことと存じますが、基本計画は、総合計画において、自治体の目指す将来像と将来の目標を明らかにし、その実現のための基本的な施策の大綱を示した基本構想のもとにあり、基本構想において設定した自治体の将来目標や基本的施策を実現するために必要な手段、施策を体系的に明らかにするものです。総合計画は、地方自治体が策定する自治体のすべての計画の基本で、行政運営の総合的な指針、地域づくりの最上位に位置づけられます。そういう意味で、基本計画は、本市の様々な基本計画のうち、最も重要な計画です。

今回の基本計画改正は、3町合併・政令市移行時に、地域の拡大や区制実施等によって最少限の見直しを行っていたものを、改めて市域拡大と政令市への移行、危機事象の発生等を踏まえ、計画期間の中間年にあたる本年度、本格的に見直しを行うもので、街づくりの重点的取り組み、分野別施策、危機管理初め、新たに区別計画が加わっています。政令市に移行した本市が将来のあるべき姿を見据え、今後の街づくりをどのようにすすめていくのか、極めて重要な内容面にかかわる見直しです。

ところが、パブリックコメントには2人の意見しかなく、出された意見もほとんど反映されていません。一方、今回の見直しのために設置された「基本計画中間見直し委員会」は、7月の設置から最終回となった10月の委員会までわずか3か月間、全体会2回、分野別取組検討部会3回、重点的取組検討部会1回の開催でした。委員は全部で17名、うち分野別取組検討部会が14名、重点的取組検討部会が4名の構成でした。それぞれの委員会は熱心に議論いただいた違いはないと思います。しかし、先日の総務委員会では、「第5次行財政改革計画(案)」の論議が定例会中の委員会論議では不十分と、閉会中審査をするようになったように、日常、市政情報を得て仕事としている私たちがさえ、市政全般にわたる問題の論議は一朝一夕にできません。「基本計画中間見直し委員会」が、わずかな資料提供や説明で、たった3カ月・数回の会議で執行部の提案を了とするのは、あまりにも拙速ではなかったでしょうか。

また、いまひとつ疑問があります。今回の見直しで、「交流人口の増加」という点で、計画に「MICE施設の整備」が盛り込まれました。現行のMICE整備案は、花畑町再開発とん挫後の2012年11月に計画が打ち出されました。この1年数カ月、賛否両論意見が分かれ、いろいろな角度から議論されてきましたが、未だ議会も推進の立場で一致していません。今3月議会でも、多くの議員から計画内容、財政的な見直しなど、多面的に質され、集中的に論議されましたが、先週の予算決算委員会の採決では、MICE整備・桜町再開発事業への補助を含む予算案は、反対や退席という形で、複数党派・議員から異論が出されている状況です。しかも、「基本計画中間見直し委員会」においては、MICE施設整備が問題となる第7章の審議は、分野別取組検討部会で30分の審議時間がとられましたが、MICE施設整備の問題ではほとんど意見が出されませんでした。重点的取組検討部会でも、交流人口の増加ということで、MICEの問題が説明されましたが、MICE施設整備についての意見は出されていませんでした。ただでさえ論議が尽くされたとは言い難い「基本計画中間見直し」の中で、今後の市政に重要な影響を及ぼす市政史上最大・バブル期の公共事業を上回る400億円以上の投資となる大型ハコモノ建設が、市民の意見を聞くこともなく、十分な情報提供もせず、やるべき議論もしないまま、当然のように基本計画に書き込まれることに、私は啞然としています。そこで、お尋ねします。

① 縷々申しましたように、今回の基本計画見直しは、政令市となった本市の在り方そのものの、また全市民にかかわる極めて重要なものです。市長は、今回の基本計画見

直しの位置づけをどのようにお考えでしょうか。

② 重要な見直しにもかかわらず、なぜパブコメで市民説明会も開かれなかったのでしょうか。たった2人からの意見で、パブコメ実施の意義が果たせたとお考えでしょうか。「見直し委員会」についても、もっと期間をとって丁寧な論議をすべきではなかったでしょうか。

③ 今回の基本計画見直しによって、新たに加えられる「MICE施設整備」について、パブコメにも市民の意見がほとんど寄せられなかった中、唯一、市民・各界の意見聞く場となった「基本計画中間見直し委員会」でも、MICE施設整備についての議論が皆無に近かったこと、市長はご存知でしたでしょうか。400億円以上の市の負担となる市政史上最大の大型ハコモノの建設を十分な論議も経ないまま、賛否両論ある中で、市の基本方針である基本計画に軽々と書き加えていいのでしょうか。以上、市長のお考えをお聞かせください。

(答弁)

私は、平成の合併で政令市に移行した他の政令市が、政令市移行にあたりどのような基本計画を見直していったか、少し調べてみましたが、「中間見直し」などという軽々な扱いでなく、多くが政令市移行という重大な節目に鑑み、丁寧に検討され、新たな計画としてつくられていました。それらと比べても、今回の市のやり方は不十分です。

市政の重要事項は、市民への説明責任を果たし、十分に意見を聞き、理解や納得の上ですすめるべきであると、私はこの場で何度も指摘してきました。今回の基本計画の見直しは、政令市に移行した熊本市の今後の在り方を決める重要な内容であるにもかかわらず、やり方があまりにも住民不在です。市民合意もありません。重要事項を市長の思いですすめるような独断的なやり方は、事が重要であるだけに、将来に大きな禍根を残すことになるのではないかと心配します。今の市長のやり方は、市長が旨としてこられた「市民参加」の理念にも反するのではないのでしょうか。市政の主人公は市民です。そういう立場で、今回の基本計画見直しには賛成できません。指摘した点を十分に汲んで、今後の市政運営にあたっていただきますことを強く要望いたします。質疑を終わります。